

ぱぴるす

和田 竜さんの講演会が行われました

3月24日に作家、和田 竜さんが中央図書館に来館し、小説「のぼうの城」～その魅力的な時代と人物～といった演題で講演が行われました。季節はずれの大雪という悪天候の中、会場には事前に申し込みされていた100名の方が来館し、岩倉苫小牧市長も駆けつけて、大盛況の開催となりました。

講演会は参加者の方から寄せられた質問に答える形式で進み、脚本家になったきっかけや「のぼうの城」のキャラクター造形など、様々な話を聞くことができ、会場全体が和田さんの興味深い話に耳を傾けていました。

この秋公開される映画の紹介もされました。

講演終了後にはサイン会も行われ、来場された方のほとんどが並ぶ盛況ぶりで、全ての方のサインが終わるのに1時間がかかりとなりました。



講演会のスナップと幻の?映画ポスター



講演会の様子



新着図書(一般書)

お役立ち本

- 『MBOのしくみ』 ありと総合事務所/編 中央経済社
- 『介護とブックトーク』 梓 加依/著 素人社
- 『キーワード3つでわかる民法』 荘司 雅彦/著 朝日新聞出版
- 『現代美術キュレーターという仕事』 難波 祐子/著 青弓社
- 『子供の名前が危ない』 牧野 恭仁雄/著 ベストセラーズ
- 『さっぼろおさんぽ日和』 すずき もも/著 北海道新聞社
- 『最新 我が家のための液状化対策』 マーブルトロン
- 『就活が変わる!優良中堅企業の見つけ方』 三浦 紀夫/著 PHP研究所
- 『ちいさいサボテンの寄せ植え』 グラフィック社
- 『デモいこ!』 TwitNoNukes/編著 河出書房新社
- 『データで検証地球の資源』 井田 徹治/著 講談社
- 『デジタル教科書のゆくえ』 西田 宗千佳/著 TAC株式会社出版事業部
- 『ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと』 鎌田 洋/著 ソトバンククリエイティブ
- 『北海道の地震と津波』 笠原 稔/編著 北海道新聞社
- 『北海道の観光を変える!』 大西 雅之/著者 中西出版

海外文学

- 『アイアン・ハウス』 ジョン・ハート/著 早川書房
- 『遅い男』 J. M. クッツェー/著 早川書房
- 『金の成る木』 シドニィ・シェルダン/作 アカデミー出版
- 『さよなら、私のクィンターナ』 ジョーン・ディディオン/著 慶応義塾大学出版会
- 『第六ポンプ』 パオロ・パチガルピ/著 早川書房
- 『冬の灯台が語るとき』 ヨハン・テオリン/著 早川書房
- 『短くて恐ろしいフィルの時代』 ジョージ・ソーンダース/著 角川書店

日本文学

- 『一時停止』 谷川 俊太郎/著 草思社
- 『科学と宗教と死』 加賀 乙彦/著 集英社
- 『海岸通りポストカードカフェ』 吉野 万理子/著 双葉社
- 『くすり屋親爺は本日も大忙し』 烏丸 五朗/著 郁朋社
- 『昆虫標本商万国数奇譚』 川村 俊一/著 河出書房新社
- 『幸せになる百通りの方法』 荻原 浩/著 文芸春秋
- 『少女は卒業しない』 朝井 リョウ/著 集英社
- 『所轄魂』 笹本 稜平/著 徳間書店
- 『葬式組曲』 天祢 涼/著 原書房
- 『第五番』 久坂部 羊/著 幻冬舎
- 『眺望絶佳』 中島 京子/著 角川書店
- 『花束に謎のリボン』 松尾 由美/著 光文社
- 『ピンクとグレー』 加藤 シゲアキ/著 角川書店
- 『ファイヤーボール』 原 宏一/著 PHP研究所
- 『毎日が大河』 田淵 久美子/著 幻冬舎

歴史・時代小説

- 『朝の霧』 山本 一力/著 文芸春秋
- 『うつけの采配』 中路 啓太/著 中央公論新社
- 『金ヶ崎の四人』 鈴木 輝一郎/著 毎日新聞社
- 『義烈千秋天狗党西へ』 伊東 潤/著 新潮社
- 『信長私記』 花村 万月/著 講談社
- 『すかたん』 朝井 まかて/著 講談社
- 『とんずら屋弥生請負帖』 田牧 大和/著 角川書店



『大阪暮らしむかし案内
江戸時代編』
本渡 章/著
創元社会

江戸時代、大阪の暮らしぶりを案内した本。井原西鶴の浮世草子に使われていた挿絵が、当時の雰囲気を知りやすく伝えてくれます。



『現代台湾を知るための
60章 第2版』
亞洲奈 みづほ/著
明石書店

最近、テレビで観光協会のCMが流れるようになった『台湾』。中国や韓国と変わらない距離にある台湾の社会や文化を知るための一冊。



『かんたん手づくりマスク』
アスマ カナコ/著
小学館

風邪の時期が終わっても続いて花粉症がくるこの季節、まだ手放せないマスクを手作りしてみませんか。無機質なマスクをかわいく変身させれば、気持ちも晴れやかに変わるかも?



『世界のタワー』
パイインターナショナル

今話題の東京スカイツリーの他、札幌テレビ塔・五稜郭タワーなど世界にはたくさんの【タワー】が存在します。風景と一体化し、素敵な景色となったタワー達の写真集です

本の情報・話題の本

図書館に住む本の話

今回のテーマ：インターネットに挑戦

年度の変わり目のこの時期。引越しを機に、インターネットを始めたい・無線LANを導入したい...そんな時のお手伝いも図書館にお任せください。文字が大きくて読みやすい『大きな字ですぐわかるはじめてのインターネット』(547.4材)、スマホにも対応した環境が作れる『これ1冊で完全理解Wi-Fi』(547.4J)。

パソコン・インターネットの資料は主に請求記号007・547.4にまとまっております。ご希望の資料が見つからない場合は職員までお尋ねください。



予約本ランキング



「マスカレードホテル」
東野圭吾(122)

- 2 「真夏の方程式」 東野圭吾(91)
- 3 『人生がときめく片づけの魔法』 近藤麻理恵(90)
- 4 『境遇』 湊かなえ(84)
- 『謎解きはディナーのあとで』 東川篤哉(84)
- * 「ジェノサイド」 高野和明(63)
- * 『謎解きはディナーのあとで2』 東川篤哉(57)
- * 「マザーズ」 金原ひとみ(57)

3月23日現在

寄贈していただきました

沖医院

一般書・児童書・参考書
計 237冊

苫小牧市役所53の会

一般書 計 19冊

苫小牧NPO法人連合会

一般書 計 17冊

苫小牧民報社

一般書・参考書
計 32冊

苫小牧ライオネスクラブ

児童書 計 26冊



春ですね。春にはスカッとすると小説が読みたい気分になりませんか？

そんな時は、今人気の警察小説はいかがでしょう？警察小説で北海道出身と言えば、直木賞受賞の佐々木譲さんを思い浮かべる方が多いと思いますが、北海道三笠市出身の今野敏さんも忘れてはならない有名作家さんです。

私が特にオススメしたいのは、竜崎伸也が活躍する『隠蔽捜査』シリーズです。竜崎は理論的・合理的な正義の人。偉い人だろうが、部下であろうが、自分の信念を曲げずに真っ直ぐ過ぎるくらい真っ直ぐに向かっていきます。そんな竜崎でも迷い揺らく心もあり、人間「竜崎伸也」の話として読んでも楽しめる作品です。隠蔽捜査は『隠蔽捜査』『果敢』『疑心』『転迷』の4巻までシリーズがあります。竜崎と同期の伊丹を中心とした作品『初陣』が隠蔽捜査3・5として出ていて、こちらもお楽しみです。と、予約がたくさんある人気作品を紹介してもみなさんご存知ですね...

それでは、大河ドラマにもなった平清盛はいかがでしょう？『平家物語』、よく耳にする書名ですが、しっかりと読み込んだという方は少ないのではないのでしょうか。

図書館員の読書日記

今回は「KJ」の日記です

平家物語は口承文学のため、書籍により少しずつ違った記述の部分があります。それを比べるゼミに短大時代籍を置いていた私は、源義綱が中心の部分を受け持ち、数冊の平家物語を読み比べ、こちらにはこんな風にあちらにはこう書いてあるが？ということをお四百字詰め原稿用紙にまとめ卒論として提出したのでした。

そして、帰ってきた原稿用紙には、ほぼ全てのページに赤丸がしてあり、最終ページには、先生の大きな赤い字で「これは"あみ"だ！」と書かれていました。そう、私はずっと中心人物「義綱」を「義綱」と書き連ねていたのです。

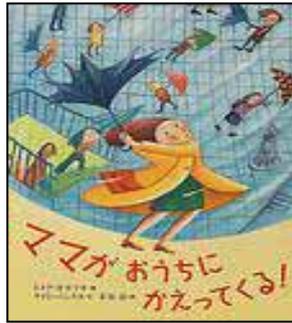
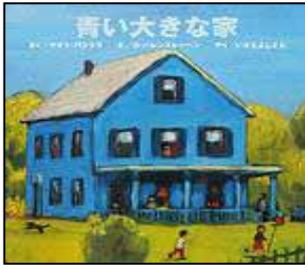
さぞ先生も苛々したことでしょう。ふとこんな出来事を思い出しながら、図書館にも複数冊ある『平家物語』(913.434へ)を読み比べてみようかと思う春でした。

『平家物語ハンドブック』
小林 保治 / 編
三省堂





こどもの本のページ



「ママがおうちに
かえってくる！」
トメク・ボガツキ / 絵
ケイト・バンクス / 文 講談社 Eマ

「蒼い大きな家」
ケイト・バンクス / さく
G・ハレン
スレーベン / え
BL出版 Eア

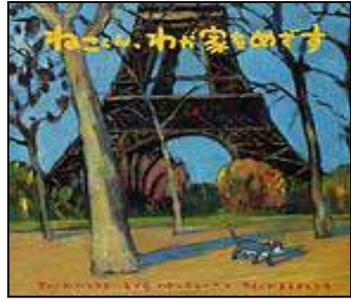
「おかあさんと
もりへ」
ゲオルク・ハレンスレーベン / 絵
ケイト・バンクス / 文
講談社 Fオ



今日のイキオシ作家 **ケイト・バンクス**さん

アメリカ生まれ。ボストン近郊のウェルズリー・カレッジを経て、コロンビア大学で史学を専攻したのち、ニューヨークの出版社に勤務した。絵本『おつきさまは きっと』(絵/ゲオルク・ハレンスレーベン 講談社)で、アメリカ児童書の書評誌『ホーンブック』の1998年最優秀絵本賞を受賞する。

(『蒼い大きな家』カバーより抜粋)



「おつきさまは きっと」
ケイト・バンクス / 文
ゲオルク・ハレンスレーベン / 絵
講談社 Eオ

「こぎつねは たびだつ」
ケイト・バンクス / ぶん
ゲオルク・ハレンスレーベン / え
プロンズ新社 Eコ

「ねこくん、
わが家をめざす」
K・バンクス / さく
G・ハレンスレーベン / え
BL出版 Eネ



あたらしい本



2・3月に届いた本からピックアップ♪

「ようちえんいやや」 Eヨ

長谷川 義史 / 作・絵
童心社

「ようちえんいくの、いやや」今日もだれかが泣いている。たけしくんとまなちゃんとおばさくさんが泣いている。理由はいろいろ。でもね、本当は…。幼稚園が大好きになる絵本。



「武士の世へ！平清盛」 28フ

万乗 大智 / まんが
小学館

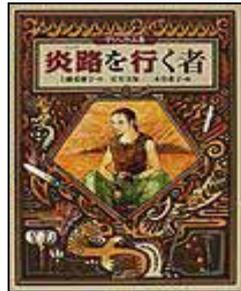
「悪人」ではなく「革命児」だった！大貿易港・神戸のもとを築き、700年続く武士の時代を切り開いた平清盛の生涯をまんがで描く。読み物記事も充実。



「炎路を行く者」 913モ

上橋 菜穂子 / 作
偕成社

「天と地の守り人」の物語の狭間で語られることのなかった、アラユタン・ヒュウゴとバルサの物語。題名のみ知られていた「炎路の旅人」と、バルサの少女時代の断片「十五の我には」の2編を収録。守り人シリーズ最新刊。



「図書館ねこデューイ」 64ト

ビッキー・マイロン / 作
岡田 好恵 / 訳
霜田 あゆ美 / 絵
アスキー・メディアワークス

冬の朝、図書館の返却ポストの中でふるえていた子ねこ。いたずら好きで人なつこくて、ちょっとふしぎなその捨てねこが、町に奇跡を起こします。本当にあった感動の物語。



よみきかせ会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

苦小牧子ども本の会 (第1・第3日曜日)

4月1日・4月15日
5月6日・5月20日
午後3時～3時30分

にじのはし

(第2土曜日)

4月14日・5月12日
午後11時～11時30分

(第4土曜日)

4月28日・5月26日
午前11時～11時30分
午後2時～2時30分

ストーリーテリング おはなし会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

おはなしオルゴール (第3土曜日)

4月21日・5月19日
午後2時～2時30分

かみしばい 紙芝居

会場 サンガーデン
定員 40名

かみしばいおじさん

(第2土曜日)

4月14日・5月12日
午後2時～2時30分

ていきてき ぎょうじ 定期的な行事の おしらせ

めいさく じょうえいかい 名作アニメビデオ上映会

会場 2階講堂
定員 70名

14ひきシリーズから「14ひきのあさごはん」ほか、また「スイミー」ほかのレオ＝レオニさんの作品などのビデオを上映します。

(第2・第4日曜日)

4月8日・4月22日
5月13日・5月27日
午後2時30分～3時

郷土・参考資料室からのお知らせ

郷土・参考資料室について

新年度を迎えたこの機会に、中央図書館2階にある当資料室について、あらためてご紹介します。

どんな資料があるの？

郷土資料と参考資料を取り扱っています。他にも新聞、地図、全国の電話帳などがあります。

郷土資料とは、苫小牧市だけではなく、それ以外の市町村も含め、広く北海道全域に関わりのある内容をもつ資料を指します。これらは発行部数が極端に少なかったり、古くて現在では入手不可能だったり、貴重なものが多く含まれるため、貸出を希望される際は「郷土資料特別貸出願い」の記入が必要です。また、資料によっては貸出できないものもあります。

参考資料とは、調査や研究を進める際、ある特定の事柄についての情報・知識を得るために利用する資料のことです。具体的には百科事典、辞書、統計書や白書などを指します。参考資料は、通読(始めから終わりまで通して読むこと)が目的の資料ではなく、また代わりとなる内容の資料が少ないため、館外への貸出はできません。

だれでも利用できるの？

年齢や資格などといった制限はありません。どなたでもご利用いただけます。ただし、自分の資料を持ち込んでの自習の場合は、別に自習室を用意していますので、そちらをご利用ください。

郷土・参考資料室でできること

調査、研究が主となります。また、利用者の皆様から質問や相談を受けて、必要な資料の紹介や、資料を探すお手伝い(レファレンス・サービス)も行っています。また、当資料室の資料だけでは調べきれない場合には、インターネットもご利用いただけます(印刷はできません)。

資料の探し方や使い方がわからない、また調査が行き詰まってしまった時はカウンターでお気軽にご相談ください。

郷土・参考資料室からのおねがい

当資料室では、郷土資料の収集・保存に力を入れています。ご自宅に、郷土に関する資料は眠っていませんか? 処分の検討前に一度当資料室までご相談ください。

新着図書を紹介

新しく入った資料をご紹介します

『日本地理学人物事典 近世編』

(290.12/二)

岡田 俊裕 / 著
東京：原書房 / 刊



17世紀から19世紀半ばまでに活躍した地理学者44名を生年順に紹介。蝦夷地の測量に大きく貢献した「間宮林蔵」や北海道の名付け親「松浦武二郎」も掲載。

巻末に年表と索引あり。



『ニコライの日記 上・中・下』

(H198.1/二)

ニコライ / 〔著〕
東京：岩波書店 / 刊



1861年、25歳のロシア人宣教師ニコライは、函館のロシア領事館付属教会の主任司祭として来日し、7年半を函館で過ごしました。その後東京に本拠を移し、激動の時代を迎えていた日本で、伝道に尽力しました。日記には、彼のいきいきとした感情と思考が綴られています。

巻末に人名索引あり。



これらの本は郷土・参考資料室で見ることができます。

参考図書室・郷土資料室のご利用に際して



かばん等の持ち込みはできません。手荷物をロッカーにお預けの上、筆記用具類のみをお持ちになってお入りください。

資料室には自習のための席はありません。自習する方は、2階電子情報サロン隣の『自習室』をご利用願います。

ふるさとの一片(52)

～郷土資料コーナーで見つけた～

ブラキストンの見た苦小牧



函館山山頂のブラキストン記念碑(本郷 新 製作)

函館山のブラキストン記念碑

英国人トーマス・ライト・ブラキストンは津軽海峡が動物分布上の重要な境界線であることを発見します。この境界線は学界の注目をあび、日本地震学の祖といわれるジョン・ミルン博士によって「ブラキストン・ライン」と名付けられ、有名になりました。

北海道に関心のある多くの人がブラキストンを知っているのは、ひとえに観光地としての函館山の功績が大きいと思います。百万ドルの夜景見物が目的で函館山に登った観光客は、山頂のブラキストン記念碑を見て、何だろこの人はとその説明書を読んで、しっかりとその名と業績(のホンの一部)を記憶に留めることになるからです。ちなみに記念碑は「勇払千人同心」や人間環境都市宣言のシンボル像「緑の輪」などで苦小牧にもなじみの深い彫刻家、本郷新の製作によるものです。

意外なのは、ブラキストン自身は学者でも開拓使雇用の「お雇い外国人」でもなく、貿易商だったことでした。元軍人にして実業家、広範な自然科学に造詣が深く、特に鳥類への関心が高いアマチュアの域を超えた探検家というのがイメージに近いでしょうか。自ら採集した千三百体以上の鳥類標本は北大植物園内

の博物館に「ブラキストン標本」として保管されています。

ブラキストンは文久三年(一八六三)にシベリアを犬糧で横断、アムール沿海経由で箱館に入り、幕末から明治初期の二十年余りを実業家として同地に在住します。この間、日本初の蒸気機械製材所の開設、青函連絡船の運行、商社の立ち上げと一体何人ブラキストンがいるのかという八面六臂ぶりです。

さらに函館に居を構えてから道内をほぼ一周するのですが、このときの紀行を明治十六年(一八八三)横浜の英字新聞「ジャパン・ガゼット」に「蝦夷地の中の日本」という題名で連載しました。この完全邦訳は約百年後の昭和五十四年(一九七九)にやっと刊行されます。

ブラキストンの見た苦小牧

この本の中には、苦小牧を訪れたときの貴重な描写があります。

まず苦小牧の印象はというと「沼沢地の多い広々とした地帯が何マイルにも渡って続き、低く平坦に真っ直ぐ広がった砂地が海辺の近くにあるので、全然魅力はない」とばつさりです。しかし、鳥には興味を示し「たくさん沼地があり、シーズン中多数の野鳥がとれる細長い池とともに数本の小川や水路がある」との記述は、苦小牧は当時から野鳥の宝庫だ

ったことがわかります。その後、二十世紀後半にラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)の登録地に指定されることを示唆します。たくさん沼地がある地形は、苦小牧の地名解「沼のまなこマイ川」そして、松浦武四郎の東蝦夷日記に書かれた「トウマコマイ。上に沼有。依って号く」とも整合性がとれます。

当時、イワシ漁が盛んだったことを裏付ける記述もあります。「浜辺には漁師の小屋がたくさん並び、小屋の周りにはイワシを煮るのに使う薪がうす高く積んである。この地方はイワシ漁で有名なのである」と、煮たイワシは魚粕に加工され、肥料として出荷されていました。

さらに、「美々にはシカの肉を保存するため政府の建設した缶詰工場がある。しかし、将来は(鹿が)減少してその工場の使用は困難になるだろう」と書かれた「美々鹿肉缶詰製造所」の記述は、先見の明があると言わざるを得ません。なぜならば、明治十一年(一八七八)に操業を開始した同工場は、翌年の記録的な大雪により鹿が減少し、わずか二年で休業する憂き目に遭うからです。(大泉)

参考・引用文献

蝦夷地の中の日本 T・W・ブラキストン

行事のお知らせ

赤ちゃんと楽しむ初めての絵本ひろば

日時 4月20日(金) 10時30分～11時30分
 会場 中央図書館 2階講堂
 対象 0歳児とその保護者の方
 内容 赤ちゃんと絵本の出会いを目的とし、
 絵本の紹介、読み聞かせの方法、読書相談などを行います。
 定員 15組(キャンセル待ち 3組) 参加費無料
 申込方法
 4月4日(水)～4月10日(火) 9時30分～開館時間内
 中央図書館カウンター、または電話(35-0511)で受付します
 定員を超えた場合は4月11日(水)に抽選(初めての方優先)
 連絡方法は、申込者全員に4月11日(水)電話連絡

おはなしひろば

日時 5月5日(土) 13時30分～14時30分
 会場 中央図書館 2階講堂
 対象 幼児・小学生の方
 内容 大型絵本や紙芝居の読み聞かせなどを予定
 定員 100名 参加費無料
 事前の申し込みは必要ありませんので、直接会場にお越しください。

寄付・寄贈ありがとうございました。(平成24年1月21日～平成24年3月20日)
 個人 115件 1,191冊 団体 66件 99冊

今後の予定	展示コーナー	閲覧室入口 世界傑作絵本・名作絵本 ～4月26日 映画になった本 4月28日～5月24日	一般書コーナー 石川啄木 没後100年 ～4月26日 タワーな本 4月28日～5月24日
		児童コーナー のりもの 4月28日～5月24日	エントランスホール 苦小牧市営バス第2弾(仮) ～5月24日

休館日の展示の公開はありません。
 行事・催し・展示については、変更・中止になる場合がございます。

中央図書館カレンダー

黒塗り白字になっている日は休館日です
 丸印がついている日は午前9時30分～午後5時開館
 印が付いていない日は午前9時30分～午後7時開館

平成24年4月

日	月	火	水	木	金	土
	2	3	4	5	6	
	9	10	11	12	13	
	16	17	18	19	20	㉑
㉒	23	24	25	26	27	㉓
㉔	㉕					

29日 昭和の日
 30日 振替休日

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2			
	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	㉖
㉗	28	29	30	31		

3日 憲法記念日
 4日 みどりの日 5日 こどもの日

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	㉚
㉛	25	26	27	28	29	㉜